

巻頭言



内閣府認証 NPO法人
 ジャパン メディカル ケア アソシエーション
 (JMCA)

理事長
西川 雅夫

新年を迎えた年賀状などの挨拶文が、コロナ禍もあり「本年も良い年でありますように」が「本年こそ良い年になりますように」になってきたようです。

私にとっては、企業の経営者としてもNPO法人の理事長としても躍進の年ではありませんでしたが、秋に旭日双光章の叙勲が最も大きな出来事になりました。経営者としてのモットーとして「企業と従業員とお客様の三位一体の利」と、関係していただいている皆様との縁とご発展を求めています。叙勲も、また皆様方あつての賜物と思っています。

民放テレビ番組の創成期の人気俳優の大村崑さんと親しくお話する機会がありました。「番頭はんと丁稚どん」「やりくりアパート」「頓馬天狗」などの主演スターで、91歳の現在も活躍されている俳優さんです。

また、筑波大学大学院教授の山田実先生の講演を聞く機会もあり、そのテーマは「コロナ禍における介護予防・フレイル対策について」でしたが、そのお話の中で、「社会参加習慣」と「運動習慣」と「良い食習慣」の3つが必要でその説明の画像が3輪トラックで表現されていました。「やりくりアパート」のことを思い出した理由は、その番組がダイハツの提供で当時

のCM商品が小型3輪トラックであることを記憶していたからです。

企業も三位一体が肝心と述べていただきましたが、SDGsでは持続可能な社会を目指していますが、その中心は「人と自然と社会の健康の保持と増進」の三位一体がテーマだと思つてSDGsに取り組んでいく次第です。

さて、気候変動が近年大きく叫ばれるようになってきました。同時に、天気予報が天気予想に替つてきたように思えます。アメダスによつて近々の天気予報はまあまあ当たつていますが、毎日のテレビのニュースで見ても、日々、天気予報は変化していると感じています。

この気圧配置等の天気図なら、今以降こうなるであろうとの過去何年かの統計から導き出されていると聞きました。昨今の気候変動は偏西風やジェット気流まで、位置の変動があるので過去データからの予測はむつかしくなつたのかも知れません。

一方、天気予報とは異なり、人の健康はその人の持つて生まれたものと環境の影響によつて変動していきますが、その人の過去データの積み重ねから健康予測はできるといっても過言ではないようです。集団と集団の比較ではなく、単年度の基準値と比した指導でもない、その人の経年でのデータによる判定・指導こそが、健康経営であり持続可能な社会の基礎となると思つています。

SDGsの理解も少しずつ深まつてきたように思えますが、「今年こそ」ではなく、「今年も良い年でありますように」を目指して邁進したいという言葉で新年号の挨拶に代えさせていただきます。



CONTENTS

- 2 巻頭言
- 3 森林サービス産業の取組について 林野庁
- 6 Health Tourism 三重県名張市
- 8 離島・半島の活性化
 離島振興地方創生協会 館逸志 理事
- 10 大和ハウス工業 最高顧問 樋口武男氏
 × JMCA 西川雅夫 理事長 SDGs達成に向かって
- 14 わが市、わが町 SDGsへの取り組み・・・兵庫県 明石市
- 16 健康経営は地域から 筑波大学 田中喜代次 名誉教授
- 22 Company introduction 株式会社 オフィス未来